



2024年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月12日

上場会社名 ヤマト インターナショナル株式会社 上場取引所東
コード番号 8127 URL <http://www.yamatointr.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 盤若 智基
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR経営企画室長 (氏名) 保田 大輔 TEL 03-5493-5629
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第1四半期の連結業績（2023年9月1日～2023年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第1四半期	5,344	4.4	269	△12.5	282	△30.4	222	△32.0
2023年8月期第1四半期	5,121	6.8	308	57.0	406	26.1	327	28.5

(注) 包括利益 2024年8月期第1四半期 327百万円 (4.3%) 2023年8月期第1四半期 314百万円 (176.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第1四半期	10.83	—
2023年8月期第1四半期	15.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期第1四半期	23,832	16,879	70.8	821.57
2023年8月期	22,476	16,798	74.7	817.62

(参考) 自己資本 2024年8月期第1四半期 16,879百万円 2023年8月期 16,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2024年8月期	—	—	—	—	—
2024年8月期（予想）	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年8月期の連結業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	11,500	6.8	220	0.3	250	△40.3	180	△47.8	8.76
通期	22,000	5.8	350	15.6	420	△28.6	330	△41.4	16.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期1Q	21,302,936株	2023年8月期	21,302,936株
② 期末自己株式数	2024年8月期1Q	757,074株	2023年8月期	756,907株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期1Q	20,545,987株	2023年8月期1Q	20,546,534株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州・中東における地政学リスクの高まりに加え、資源価格の高騰や円安等、先行き不透明な状況が継続したものの、物価や賃金、更には金利の上昇に見られるように、「失われた30年」からの脱却への期待を背景に株価はバブル後の高値を一時更新するなど、日本市場への期待の高まりとともに経済活動の正常化が進みつつあります。

一方、当アパレル・ファッション業界におきましては、お客様の外出機会の増加や、インバウンド需要の復調により回復基調で推移いたしました。急激な物価上昇や気候変動等による個人消費への影響が懸念されます。

このような経営環境の中、当社グループは「ものを創り 人を創り お客様と共に心豊かな毎日を創る」という不変のミッションのもと、人々のライフスタイルや価値観が様変わりする中で、いつの時代でもどのような環境下でも、お客様の不満や問題を解決し 求められるものを提供し 最初に想起される真のブランド「シン・ブランド創り」を目指しております。

これらを背景に始動した中期ビジョン「Yamato 2026」では、10年後を視野に、既顧客の活性化を前提としながらも、次の世代の潜在顧客獲得により比重を置いた戦略を実践してまいります。そして、10年後のあるべき姿として、次の世代のお客様が当社のブランドを認知認識し、私たち創り手の意図を理解し、詳細な特徴を語り他者へ共有できる、更にはお客様同士も共鳴できる状態。お客様も社員も誇れる真のブランドになっている姿を目指してまいります。

基幹事業である「クロコダイル」は、1963年の販売開始以来、長きにわたり愛され続ける当社のオリジナルブランドです。「大人のTPOをスマートに演出するブランド」をコンセプトに、改めて原点である顧客起点に立ち返り、既顧客の満足度向上と活性化に繋がる商品の強みや付加価値を戦略的に構築するとともに、クロコダイルグループにおける先進的な役割を担う「クロコダイル コード」「スイッチモーション クロコダイル」に注力し、潜在顧客が興味を持ち共感できる新しいスタイルを提案してまいります。更に商品、店舗、コミュニケーション等すべてにおいて一貫性を保ち提供することで、お客様のブランドに対する認知認識を深め顧客を獲得し、事業の持続的な成長を目指してまいります。

「創造的な移動を続ける都市生活者のための機能服」をコンセプトに、オンラインショップをベースに展開する「CITERA (シテラ)」は、常に快適で洗練された、時代に響くスタイルを創り出し、ブランドの顔となる商品開発等に引き続き注力することで更なる売上拡大を目指してまいります。また、米国発アウトドアファッションブランド「Penfield (ペンフィールド)」と、ハワイ発カジュアルサブブランド「Lightning Bolt (ライトニングボルト)」は、ブランド認知度と価値向上に注力し、ライセンス事業の更なる拡大を目指してまいります。

一方、当社グループの物流業務を請け負う子会社ヤマト ファッションサービス株式会社は、自動ソーター及び自動製封函機に加え、新たにカメラ認証システムを導入し業務の自動化や省人化を推進することで、在庫管理や入出荷業務の精度向上に努めるとともに物流費や光熱費の高騰にも対応し、更なる生産性向上を図ってまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高が53億4千4百万円（前年同期比4.4%増）となりました。利益面では、売上総利益率は61.4%（前年同期比0.3ポイント減）となり、販売費及び一般管理費については30億1千1百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は2億6千9百万円（前年同期比12.5%減）、経常利益は2億8千2百万円（前年同期比30.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億2千2百万円（前年同期比32.0%減）となりました。

セグメントごとの売上高では、繊維製品製造販売業52億7千3百万円（前年同期比4.4%増）、不動産賃貸事業7千1百万円（前年同期比0.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は116億2千4百万円となり、前連結会計年度末と比べ11億9百万円増加いたしました。主な要因は、商品及び製品が13億8千9百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が7億8千6百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。なお、現金及び預金と有価証券を合わせた手元流動性資金は72億1千7百万円から9億8千6百万円減少し62億3千万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は122億7百万円となり、前連結会計年度末と比べ2億4千6百万円増加いたしました。主な要因は、有形固定資産が1千1百万円、投資有価証券が2億3千万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は238億3千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億5千6百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は56億5千3百万円となり、前連結会計年度末と比べ12億9千4百万円増加いたしました。主な要因は、電子記録債務が12億5千5百万円増加したこと等によるもので

あります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は12億9千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ1千9百万円減少いたしました。主な要因は、長期借入金が3千6百万円減少し、繰延税金負債が1千6百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は69億5千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億7千5百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は168億7千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ8千万円増加いたしました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が1億1千1百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は70.8%（前連結会計年度末は74.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年10月13日の「2023年8月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,817,635	3,830,821
受取手形、売掛金及び契約資産	1,205,143	1,991,831
有価証券	2,399,947	2,399,987
商品及び製品	1,830,618	3,220,590
仕掛品	112,695	98,196
その他	149,175	83,486
流動資産合計	10,515,216	11,624,913
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,186,225	1,189,768
機械装置及び運搬具（純額）	95,857	102,463
土地	5,179,068	5,179,068
リース資産（純額）	44,606	40,476
その他（純額）	62,760	68,713
有形固定資産合計	6,568,518	6,580,488
無形固定資産	18,330	16,267
投資その他の資産		
投資有価証券	5,048,286	5,278,908
差入保証金	93,576	97,825
退職給付に係る資産	163,706	164,873
繰延税金資産	1,591	3,115
その他	95,027	94,119
貸倒引当金	△27,671	△27,671
投資その他の資産合計	5,374,518	5,611,171
固定資産合計	11,961,367	12,207,927
資産合計	22,476,583	23,832,841

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	714,291	675,077
電子記録債務	2,728,005	3,983,531
1年内返済予定の長期借入金	147,372	147,372
未払法人税等	76,771	80,201
賞与引当金	74,364	—
その他	617,970	767,540
流動負債合計	4,358,774	5,653,722
固定負債		
長期借入金	778,293	741,450
資産除去債務	64,092	68,726
繰延税金負債	251,461	268,429
その他	225,030	220,591
固定負債合計	1,318,878	1,299,197
負債合計	5,677,653	6,952,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,917,652	4,917,652
資本剰余金	4,988,692	4,988,692
利益剰余金	6,538,520	6,514,493
自己株式	△364,168	△364,217
株主資本合計	16,080,697	16,056,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	753,505	864,721
繰延ヘッジ損益	3,529	△4,239
退職給付に係る調整累計額	△38,801	△37,182
その他の包括利益累計額合計	718,233	823,299
純資産合計	16,798,930	16,879,920
負債純資産合計	22,476,583	23,832,841

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
売上高	5,121,817	5,344,830
売上原価	1,963,944	2,063,428
売上総利益	3,157,873	3,281,402
販売費及び一般管理費	2,849,715	3,011,690
営業利益	308,158	269,711
営業外収益		
受取利息	4,016	4,685
受取配当金	3,210	3,454
雇用調整助成金	90,388	—
その他	3,819	7,256
営業外収益合計	101,435	15,396
営業外費用		
支払利息	1,342	2,125
為替差損	1,891	—
その他	139	305
営業外費用合計	3,373	2,431
経常利益	406,220	282,676
特別損失		
固定資産除却損	122	—
特別損失合計	122	—
税金等調整前四半期純利益	406,097	282,676
法人税、住民税及び事業税	78,216	60,428
法人税等調整額	704	△277
法人税等合計	78,921	60,151
四半期純利益	327,176	222,525
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	327,176	222,525

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	327,176	222,525
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,916	111,215
繰延ヘッジ損益	△7,123	△7,768
退職給付に係る調整額	△135	1,619
その他の包括利益合計	△13,175	105,065
四半期包括利益	314,000	327,591
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	314,000	327,591
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維製品製造 販売業	不動産賃貸 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,049,669	72,148	5,121,817	—	5,121,817
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,049,669	72,148	5,121,817	—	5,121,817
セグメント利益	435,580	43,309	478,890	△170,732	308,158

(注)1. セグメント利益の調整額△170,732千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維製品製造 販売業	不動産賃貸 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,273,110	71,719	5,344,830	—	5,344,830
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,273,110	71,719	5,344,830	—	5,344,830
セグメント利益	408,163	43,251	451,414	△181,703	269,711

(注)1. セグメント利益の調整額△181,703千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。